

変更理由

変更後

(25/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	ペーラ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	24回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		130M	—	24回		
		3.分解点検(電動機)		150M	—	25回		
	A固化建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・4回保全サイクルに実施
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
	B固化建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・1回定検時に実施
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
	A固化建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・3回定検時に実施
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
	B固化建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・2回定検時に実施
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
第2固体廃棄物処理建屋A給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検(ファン)		78M	—	25回		先行実施 (振動診断:[電動機]20)	
	3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			

(25/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
放射線管理施設 [換気設備]	ペーラ排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		130M	○	21回		
		3.分解点検(電動機)		150M	—	25回		
	A固化建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・4回保全サイクルに実施 保全の有効性評価結果No.9の反映 (ファン)
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
	B固化建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・1回定検時に実施 保全の有効性評価結果No.9の反映 (ファン)
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
	A固化建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・3回定検時に実施 保全の有効性評価結果No.9の反映 (ファン)
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
	B固化建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2.分解点検(ファン)		CEM	—	※—		先行実施 (振動診断:40) ※1号機設備として 第2・2回定検時に実施 保全の有効性評価結果No.9の反映 (ファン)
		3.分解点検(電動機)		CEM	—	25回		先行実施 (振動診断:40) (メガ測定:1F)
第2固体廃棄物処理建屋A給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
	2.分解点検(ファン)		78M	—	25回			
	3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			

施設管理の実施に関する計画の変更前後表(別紙 点検計画) 変更前

変更理由

- ① 振動診断機器及び周期の追記
- ② 管理項目見直しに伴う項目削除

変更後

(26/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	第2固体廃棄物処理建屋B給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：「電動機」2回)	
		2.分解点検(ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			
	第2固体廃棄物処理建屋A排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：「電動機」2回)	
		2.分解点検(ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			
	第2固体廃棄物処理建屋B排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：「電動機」2回)	
		2.分解点検(ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			
	換気空調設備のファン	1式	1.簡易点検(潤滑油脂補給他)	高・低	13M~91M	○	26回		一部先行実施
	自動ダンバ	75台	1.機能・性能試験 2.分解点検他	高・低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	
	可燃性ガス濃度制御系主要弁	3D-6715A	1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
3D-6715B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6720A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6720B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6721A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6721B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6723A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6723B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1式	1.分解点検 2.簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高・低	10M~260M 195M	○	26回	1次系弁検査		
放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M~260M	○	26回		一部先行実施 (振動診断「溶化装置」・「排気ファン」 「電動機」：4回)	
緊急時対策所非常用空気浄化ファン	2台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	26回			
緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット	2台	1.機能・性能試験(よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	26回	可搬型換気空調設備検査	先行実施	
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	中央制御室遮蔽	1.漏えい試験	高	6Y	—	25回	中央制御室の居住性確認検査		
	緊急時対策所	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	緊急時対策所の居住性確認検査	先行実施	

変更前

(26/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	第2固体廃棄物処理建屋B給気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：「電動機」2回)	
		2.分解点検(ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			
	第2固体廃棄物処理建屋A排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：「電動機」2回)	
		2.分解点検(ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			
	第2固体廃棄物処理建屋B排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：「電動機」2回)	
		2.分解点検(ファン)		78M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		78M	—	25回			
	換気空調設備のファン	1式	1.簡易点検(潤滑油脂補給他)	高・低	13M~91M	○	25回		一部先行実施
	自動ダンバ	75台	1.機能・性能試験 2.分解点検他	高・低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	
	可燃性ガス濃度制御系主要弁	3D-6715A	1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加
3D-6715B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加	
3D-6720A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加	
3D-6720B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加	
3D-6721A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加	
3D-6721B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加	
3D-6723A		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加	
3D-6723B		1.分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回施設定期検査より追加	
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1式	1.分解点検 2.簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高・低	10M~260M 195M	○	25回	1次系弁検査		
放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1式	1.分解点検他	高	13M~260M	○	25回		一部先行実施	
放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1式	1.分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部先行実施	
緊急時対策所非常用空気浄化ファン	2台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型換気空調設備検査	先行実施 25回施設検査時に設置	
緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット	2台	1.機能・性能試験(よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	—	可搬型換気空調設備検査	先行実施 25回施設検査時に設置	
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	中央制御室遮蔽	1.漏えい試験	高	6Y	—	25回	中央制御室の居住性確認検査	中央制御室の居住性確認検査は25回施設定期検査より追加	
	緊急時対策所	1.機能・性能試験	高	1F	○	—	緊急時対策所の居住性確認検査	先行実施 25回施設検査時に設置	
放射線管理施設 [その他設備]	可搬型気象観測装置	1.特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設検査時に設置	
	気象観測装置	1.特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設検査時に設置	

施設管理の実施に関する計画の変更前後表(別紙 点検計画)

変更理由

振動診断機器及び周期の追記

変更後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考()内は適用する設備診断技術		
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	3MOV-5502A	1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5502B	1. 分解点検	高	104M	○	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5502C	1. 分解点検	高	104M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5505A	1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5505B	1. 分解点検	高	104M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5505C	1. 分解点検	高	104M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6931	1. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6200	1. 分解点検	高	130M	○	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6201	1. 分解点検	高	130M	○	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6202	1. 分解点検	高	130M	○	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6203	1. 分解点検	高	130M	○	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6746	1. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6747	1. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		1式	2. 簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	39M~130M	○	26回			
		原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	52M~156M	○	25回		
				2. 簡易点検 (特性点検)	高	13M~52M	○	26回		
		格納容器真空逃がし弁	6個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
			3D-6707A	2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3D-6707B		2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	3D-6707C		2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	3D-6707D		2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	3D-6707E		2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	1次系安全弁検査		
		1式	2. 分解点検	高・低	39M~23M	○	25回		一部図あり	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験(ポンプ・電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回	原子炉格納容器安全系機能検査			
		2. 機能・性能試験(状態監視含む)	低	B	○	25回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] A・B内部スプレポンプによる代替炉心注入系		
	A内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	[振動診断:「電動機」1M]		
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	○	25回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	25回				
	B内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	[振動診断:「電動機」1M]		
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	○	25回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	26回				
	C内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	[振動診断:「電動機」1M]		
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	○	25回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	25回				

(29/41)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考()内は適用する設備診断技術		
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	3MOV-5502A	1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5502B	1. 分解点検	高	104M	○	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5502C	1. 分解点検	高	104M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5505A	1. 分解点検	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5505B	1. 分解点検	高	104M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-5505C	1. 分解点検	高	104M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6931	1. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6200	1. 分解点検	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6201	1. 分解点検	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6202	1. 分解点検	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6746	1. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3MOV-6747	1. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		1式	2. 簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	39M~130M	○	25回			
		原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	52M~156M	○	25回		
				2. 簡易点検 (特性点検)	高	13M~52M	○	25回		
		格納容器真空逃がし弁	6個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
			3D-6707A	2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
			3D-6707B	2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	3D-6707C		2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	3D-6707D		2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	3D-6707E		2. 分解点検	高	130M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	1次系安全弁検査		
		1式	2. 分解点検	高・低	39M~23M	○	22回		一部図あり	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	原子炉格納容器スプレイ系	1. 機能・性能試験(ポンプ・電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回	原子炉格納容器安全系機能検査		
2. 機能・性能試験(ポンプ・電動機、弁、弁駆動部等含む)			低	B	○	25回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] A・B内部スプレポンプによる代替炉心注入系 25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映(ポンプ・電動機)		
A内部スプレポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	その他原子炉注水系ポンプ分解検査は25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映(ポンプ・電動機)		
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	○	25回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	25回				
B内部スプレポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	その他原子炉注水系ポンプ分解検査は25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映(ポンプ・電動機)		
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	○	25回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	25回				
C内部スプレポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	○	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No.3の反映(ポンプ・電動機)		
		2. 分解点検 (電動機)	高	130M	○	25回				
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	25回				

変更理由

- ① 保全の有効性評価結果に伴う点検頻度の変更
- ② 振動診断機器及び周期の追加

変更後

(30/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	D内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	振動診断(電動機)①	
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	26回			
	A内部スプレクーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		195M	—	25回			
	B内部スプレクーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		195M	—	25回			
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	3MW-6405A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MW-6405B	1. 分解点検		130M	—	25回		
		3MW-6417A	1. 分解点検		130M	—	23回		
		3MW-6417B	1. 分解点検		130M	—	25回		
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	156M	—	24回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	よう素除去薬品タンク	1式	1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系安全弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	25回	1次系安全弁検査	保全の有効性評価結果No.10の反映
			2. 分解点検		30M~250M	○	26回	1次系真空破壊弁検査	
			3. 簡易点検 (グラントパッキン取替)		65M~195M	○	26回	1次系遮止弁検査 1次系弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	22回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1式	1. 分解点検他	高	78M~195M	—	26回		
			2. 分解点検		156M	—	22回		
	静的触媒式水素再結合装置	5個	1. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	25回施設設定時に設置機能検査
			2. 外観点検 (触媒プレート)		5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
			3. 外観点検 (本体)		1F	○	26回		
	原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	1. 外観点検	高	1F	○	26回		25回施設設定時に設置
2. 絶縁抵抗測定			1F		○	26回			
3. 抵抗測定			1F		○	26回			
4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)			1F		○	26回	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査	25回施設設定時に設置		
原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査	25回施設設定時に設置		

(30/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	D内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)②	
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	25回			
	A内部スプレクーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		195M	—	25回			
	B内部スプレクーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		195M	—	25回			
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	3MW-6405A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MW-6405B	1. 分解点検		130M	—	25回		
		3MW-6417A	1. 分解点検		130M	—	23回		
		3MW-6417B	1. 分解点検		130M	—	25回		
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	156M	—	24回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	よう素除去薬品タンク	1式	1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系安全弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	—	25回	1次系安全弁検査	保全の有効性評価結果No.10の反映
			2. 分解点検		30M~250M	○	25回	1次系真空破壊弁検査	
			3. 簡易点検 (グラントパッキン取替)		130M~195M	○	25回	1次系遮止弁検査 1次系弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	22回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1式	1. 分解点検他	高	78M~195M	—	25回		
	静的触媒式水素再結合装置	5個	1. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	25回施設設定時に設置機能検査
			2. 外観点検 (触媒プレート)		5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	
			3. 外観点検 (本体)		1F	○	—		
	原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	1. 外観点検	高	1F	○	—		25回施設設定時に設置
			2. 絶縁抵抗測定		1F	○	—		
3. 抵抗測定			1F		○	—			
4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)			1F		○	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
静的触媒式水素再結合装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設設定時に設置		
原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設設定時に設置		

施設管理の実施に関する計画の変更前後表 (別紙 点検計画)

変更前

変更理由

記載の適正化

(31/41)

変更後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術) [別表-1]	
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス1・2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	7Y	○	26回	クラス1機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-1]	
		2.漏えい試験		1F	○	26回	クラス1機器供用期間中検査		
	クラス2機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス1・2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	10Y	○	25回	クラス2機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-2]	
		2.漏えい試験		10Y	○	26回	クラス2機器供用期間中検査		
	クラス3機器(供用期間中検査対象)	1.非破壊試験	高	10Y	○	26回	クラス3機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-3]	
		2.漏えい試験		10Y	—	26回	クラス3機器供用期間中検査		
	クラス1機器N1基金使用部位 (重大事故等クラス1・2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1.非破壊試験	高	3.5Y	—	26回	供用期間中特別検査のうちクラス1機器N1基金使用部位特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-4]
	クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1.非破壊試験	高	25%/10Y	—	26回	供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-5]
	蒸気発生器管台溶接部 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1.非破壊試験	高	7Y	○	—	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	IS1プログラムによる。 [別表-1]
	クラス3機器、クラス4管の耐圧部	1式	1.外観点検	高・低	100%/10Y	—	26回	構造健全性検査	排気筒については65Mで実施
	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1式	1.漏えい検査	高	1F	○	26回	構造健全性検査	
	レストレイント	1式	1.外観点検	高	100%/10Y	○	25回	レストレイント検査	
原子力設備[その他設備]その他の字	1式	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	1次系安全弁検査		
		2.分解点検	高・低	130M~195M	—	25回	1次系逆止弁検査		
		3.簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	195M	—	22回			
原子力設備[その他設備]その他機器	1式	1.分解点検他	高・低	1Y~2.1Y	○	26回		一部あり	
重大事故等クラス2機器	1式	1.非破壊試験	高	10Y	○	26回	重大事故等クラス2機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-8]	
		2.漏えい試験		10Y	○	—	重大事故等クラス2機器供用期間中検査		
重大事故等クラス3機器	1式	1.漏えい試験	高	10Y	○	26回	重大事故等クラス3機器供用期間中検査	先行実施 IS1プログラムによる。 [別表-9]	
クラス1配管(水平展開対象)	1式	1.非破壊試験	高	100%/1F	○	26回	供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-10]	
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	耐震クラスS、Bに属する支持構造物	1.外観点検	高	100%/10Y	○	26回	耐震健全性検査	クラス1、2、3機器供用期間中検査の対象範囲を除く	

(31/41)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術) [別表-1]	
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	7Y	○	25回	クラス1機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-1]	
		2.漏えい試験		1F	○	25回	クラス1機器供用期間中検査		
	クラス2機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	10Y	—	25回	クラス2機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-2]	
		2.漏えい試験		10Y	○	25回	クラス2機器供用期間中検査		
	クラス3機器(供用期間中検査対象)	1.非破壊試験	高	10Y	○	25回	クラス3機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-3]	
		2.漏えい試験		10Y	○	25回	クラス3機器供用期間中検査		
	クラス1機器N1基金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1.非破壊試験	高	3.5Y	○	24回	供用期間中特別検査のうちクラス1機器N1基金使用部位特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-4]
	クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1.非破壊試験	高	25%/10Y	○	25回	供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-5]
	蒸気発生器管台溶接部 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1式	1.非破壊試験	高	7Y	—	—	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	IS1プログラムによる。 [別表-1]
	クラス3機器、クラス4管の耐圧部	1式	1.外観点検	高・低	100%/10Y	○	25回	構造健全性検査	排気筒については65Mで実施
	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1式	1.漏えい検査	高	1F	○	25回	構造健全性検査	
	レストレイント	1式	1.外観点検	高	100%/10Y	—	25回	レストレイント検査	
原子力設備 [その他設備]その他の字	1式	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	1次系安全弁検査		
		2.分解点検	高・低	130M~195M	—	25回	1次系逆止弁検査		
		3.簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	195M	—	22回			
原子力設備 [その他設備]その他機器	1式	1.分解点検他	低	1Y~130M	○	25回		一部あり	
重大事故等クラス2機器	1式	1.非破壊試験	高	10Y	○	—	重大事故等クラス2機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-7] 25回施設検査時に設定	
		2.漏えい試験		10Y	—	—	重大事故等クラス2機器供用期間中検査		
重大事故等クラス3機器	1式	1.漏えい試験	高	10Y	○	—	重大事故等クラス3機器供用期間中検査	IS1プログラムによる。 [別表-8] 25回施設検査時に設定	
クラス1配管(水平展開対象)	1式	1.非破壊試験	高	100%/1F	○	—	供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査	IS1プログラムによる。 [別表-9] 25回施設定期検査時に設定	
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	耐震クラスS、Bに属する支持構造物	1.外観点検	高	100%/10Y	○	25回	耐震健全性検査	クラス1、2、3機器供用期間中検査の対象範囲を除く	

施設管理の実施に関する計画の変更前後表(別紙点検計画)

保全の有効性評価結果に伴う
点検頻度の変更

変更理由

変更後

(32/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)		
蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	高圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	26回	蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No.12の反映		
		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
	第1低圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	25回	蒸気タービン開放検査		開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No.12の反映	
		2. 外観点検	高	F	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
	第2低圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	26回	蒸気タービン開放検査		開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No.12の反映	
		2. 外観点検	高	F	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
	第3低圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	25回	蒸気タービン開放検査		開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No.12の反映	
		2. 外観点検	高	F	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
	ロータライメント	1. 組立状況点検	高	B※	○	26回	蒸気タービン開放検査		※タービンの開局時期に合わせて実施	
	蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	調速装置および非常調速装置	1. 外観点検	高	13M	○	26回		蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検	高	13M	○	26回		蒸気タービン開放検査	
No. 1 主蒸気止め弁		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
No. 3 主蒸気止め弁		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
No. 4 主蒸気止め弁		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
No. 1 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
No. 2 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
No. 3 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
No. 4 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
1 B 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
2 A 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
3 A 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
3 B 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
1 A インターセプト弁		1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
1 B インターセプト弁		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査			
2 A インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検	高	26M	○	26回	蒸気タービン開放検査				

(32/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)		
蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	高圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
		2. 組立状況点検	高	B	○	24回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
	第1低圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	25回	蒸気タービン開放検査		開放点検実施時は開放点検内で実施	
		2. 外観点検	高	F	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
	第2低圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	24回	蒸気タービン開放検査		開放点検実施時は開放点検内で実施	
		2. 外観点検	高	F	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
	第3低圧タービン	1. 開放点検	高	3M	○	25回	蒸気タービン開放検査		開放点検実施時は開放点検内で実施	
		2. 外観点検	高	F	○	26回	蒸気タービン開放検査			
		3. 簡易点検(軸受箱内部清掃)	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
	ロータライメント	1. 組立状況点検	高	B※	○	25回	蒸気タービン開放検査		※タービンの開局時期に合わせて実施	
	蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	調速装置および非常調速装置	1. 外観点検	高	13M	○	25回		蒸気タービン開放検査	
			1. 開放点検	高	13M	○	25回		蒸気タービン開放検査	
No. 1 主蒸気止め弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
No. 2 主蒸気止め弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
No. 3 主蒸気止め弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
No. 4 主蒸気止め弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
No. 1 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
No. 2 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
No. 3 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
No. 4 蒸気加減弁		2. 組立状況点検	高	B	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
1 A 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
2 A 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
3 A 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
3 B 再熟蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
1 A インターセプト弁		1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
		1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査			
1 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査				
2 A インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査				
	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査				

施設管理の実施に関する計画の変更前後表(別紙 点検計画)

変更前

保全の有効性評価結果に伴う
点検頻度の変更

変更理由

変更後

(33/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)	
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並びに調速 装置で制御される主要弁〕	2 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	25M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
	3 A インターセプト弁	1. 開放点検	高	25M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
	3 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	25M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
蒸気タービン 〔復水器〕	復水器	1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
		2. 防汚塗装		13M	○	25回			
	A 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	25M	○	25回			
		2. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
		3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)		13M	○	25回			
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	25M	○	25回			
		2. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
		3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)		13M	○	25回			
	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	24回		先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	24回		保全の有効性評価結果No. 13の反映 (ポンプ)	
	A 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	高	234M	○	22回		2次系容器検査	
		2. 分解点検 (電動機)	高	39M	○	25回			先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回			保全の有効性評価結果No. 13の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回			
	B 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	高	234M	○	22回		2次系容器検査	
2. 分解点検 (電動機)		高	39M	○	25回			先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
C 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回			先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回			保全の有効性評価結果No. 13の反映 (ポンプ)	
C 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	高	234M	○	25回		2次系容器検査		
	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	○	25回			(振動診断 [電動機]: 3M)	
A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	25回			(振動診断 [電動機]: 3M)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回				
B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	25回			(振動診断 [電動機]: 3M)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回				
C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	26回			(振動診断 [電動機]: 3M)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回				
蒸気タービン〔復水器〕その他機器	1式	1. 分解点検他	高	52M~208M	○	25回		一部限あり 保全の有効性評価結果No. 14の反映	
		1. 分解点検他	低	13M~208M	○	25回			
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	1 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
		3. 漏えい試験		B	○	24回	蒸気タービン開放検査		
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
	1 B 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	○	23回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
		3. 漏えい試験		B	○	23回	蒸気タービン開放検査		
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	○	23回	蒸気タービン開放検査		
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	○	23回	蒸気タービン開放検査		

(33/41)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)	
蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並びに調速 装置で制御される主要弁〕	2 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	25M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
	3 A インターセプト弁	1. 開放点検	高	25M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
	3 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	25M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
蒸気タービン 〔復水器〕	復水器	1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
		2. 防汚塗装		13M	○	25回			
	A 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	25M	○	25回			
		2. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
		3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)		13M	○	25回			
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	25M	○	25回			
		2. 分解点検 (電動機)		52M	○	25回			
		3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)		13M	○	25回			
	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	24回		先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	24回			
	A 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	高	234M	○	22回		2次系容器検査	
		2. 分解点検 (電動機)	高	39M	○	25回			先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回			先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回			
	B 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	高	234M	○	22回		2次系容器検査	
2. 分解点検 (電動機)		高	39M	○	25回			先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
C 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回			先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回				
C 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	高	234M	○	25回		2次系容器検査		
	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	○	25回			(振動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No. 10の反映 (電動機)	
A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	25回			(振動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No. 10の反映 (電動機)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回				
B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	25回			(振動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No. 10の反映 (電動機)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回				
C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	21回			(振動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No. 10の反映 (電動機)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	○	25回				
蒸気タービン〔復水器〕その他機器	1式	1. 分解点検他	高	52M~208M	○	25回		一部限あり	
		1. 分解点検他	低	13M~208M	○	25回			
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	1 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	○	22回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	24回			
		3. 漏えい試験		B	○	22回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	○	22回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	○	22回			
	1 B 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	○	23回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	25回			
		3. 漏えい試験		B	○	23回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	○	23回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	○	23回			

施設管理の実施に関する計画の変更前 点検計画

変更理由

記載の適正化
(保全計画の見直しによる保全
頻度の変更)

(36/41)

変更後

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び野水設備並びに給水処理設備〕	B主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回		
		2. 分解点検 (B 1 電動機)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (B 2 電動機)		104M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
C主給水ポンプ・電動機	C主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		
		2. 分解点検 (C 1 電動機)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (C 2 電動機)		104M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
A給水ブースタポンプ・電動機	A給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	26回		(振動診断〔電動機〕: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	21回		
B給水ブースタポンプ・電動機	B給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		(振動診断〔電動機〕: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	24回		
C給水ブースタポンプ・電動機	C給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回		(振動診断〔電動機〕: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
A復水ブースタポンプ・電動機	A復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	26回		(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
B復水ブースタポンプ・電動機	B復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	25回		(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
C復水ブースタポンプ・電動機	C復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	25回		(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回		
A 復水脱塩塔	A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	○	22回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	23回	2次系容器検査	
E 復水脱塩塔	E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び野水設備並びに給水処理設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M~130M	○	26回		一部先行実施
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	主な配管 (主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統)	1. 外観・目視点検	高	IF	○	26回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	○	26回	蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	2次系配管等※ (上記以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統) ※配管の他、タービン、ポンプ、熱交換器等を含む	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	26回	2次系配管検査	定期事業者検査起動後
		2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	○	26回	2次系配管検査	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	52M	○	26回		

(36/41)

変更前

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び野水設備並びに給水処理設備〕	B主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		
		2. 分解点検 (B 1 電動機)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (B 2 電動機)		104M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
C主給水ポンプ・電動機	C主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		
		2. 分解点検 (C 1 電動機)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (C 2 電動機)		104M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
A給水ブースタポンプ・電動機	A給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回		(振動診断〔電動機〕: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	21回		保全の有効性評価結果No. 11の反映(電動機)
B給水ブースタポンプ・電動機	B給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		(振動診断〔電動機〕: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	24回		保全の有効性評価結果No. 11の反映(電動機)
C給水ブースタポンプ・電動機	C給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		(振動診断〔電動機〕: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		保全の有効性評価結果No. 11の反映(電動機)
A復水ブースタポンプ・電動機	A復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	○	21回		(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		保全の有効性評価結果No. 12の反映(電動機)
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
B復水ブースタポンプ・電動機	B復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	25回		(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		保全の有効性評価結果No. 12の反映(電動機)
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
C復水ブースタポンプ・電動機	C復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	25回		(振動診断: 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		保全の有効性評価結果No. 12の反映(電動機)
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
A 復水脱塩塔	A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	○	21回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	22回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	23回	2次系容器検査	
E 復水脱塩塔	E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
		1. 開放点検		65M	—	25回	2次系容器検査	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び野水設備並びに給水処理設備〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	低	13M~130M	○	25回		一部先行実施
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	主な配管 (主蒸気系統・抽気系統・ドレン系統)	1. 外観・目視点検	高	IF	○	25回	蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	○	25回	蒸気タービン開放検査	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕	2次系配管等※ (上記以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統) ※配管の他、タービン、ポンプ、熱交換器等を含む	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	25回	2次系配管検査	定期事業者検査起動後
		2. 非破壊試験		肉厚管理指針による	○	25回	2次系配管検査	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する管等〕 その他機器	1式	1. 分解点検他	高	52M	○	25回		

施設管理の実施に関する計画の変更前後表 (別紙 点検計画)

変更理由

- ① 保全の有効性評価結果に伴う点検頻度の変更
- ② 振動診断周期見直しに伴う変更

変更後

(38/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
補助ボイラー設備	補助ボイラ系統	1. 外観点検	低	B ※1	—	47回※2	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 補助ボイラー設備検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回数	
順、管寄せ及び管安全弁 ボイラーに附属する給水設備 ボイラーに附属する熱交換器 ボイラーに附属する通風設備 ボイラーに附属する空気圧縮設備及びガス圧縮設備 ボイラーに附属する管等油燃焼用機器	1式	1. 性能試験	低	B ※1	—	47回※2	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回数	
		2. 開放点検			10Y※1	—	47回※2	補助ボイラー開放検査	フロント運転中 ※1 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回数
		3. 開放点検他			3Y~20Y	○	48回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数 ② (振動診断)補助ボイラ燃料ポンプ用電動機、補助ボイラ給水ポンプ用電動機、補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、補助ボイラ押込通風機用電動機
		4. 簡易点検 (ホース取替)			5Y	○	47回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数
燃料運搬設備に係る油の輸送管、燃料貯蔵設備に係る油タンク	1式	1. 開放点検	低	2Y~20Y	○	47回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数 ②	
補助ボイラー集じん機 ばい塵処理設備に附属する空気圧縮機、通風機、破砕機又は導管機	1式	1. 開放点検	低	10Y~20Y	—	38回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	
補助ボイラー-附属設備その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	低	B	—	47回※1	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	
補助ボイラー-附属設備その他の弁	1式	1. 分解点検	低	1Y~10Y	○	48回※1	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	
		1. 分解点検他	低	1Y~20Y	○	48回※1	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	

変更前

(38/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回数)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [補助ボイラー]	補助ボイラ系統	1. 外観点検	低	B ※1	○	45回※2	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 補助ボイラー設備検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回数	
順、管寄せ及び管安全弁 ボイラーに附属する給水設備 ボイラーに附属する熱交換器 ボイラーに附属する通風設備 ボイラーに附属する空気圧縮設備及びガス圧縮設備 ボイラーに附属する管等油燃焼用機器	1式	1. 性能試験	低	B ※1	○	45回※2	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回数	
		2. 開放点検			10Y※1	○	45回※2	補助ボイラー開放検査	フロント運転中 ※1 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に含ませて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回数
		3. 開放点検他			3Y~20Y	○	46回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数 ② (振動診断)A/補助ボイラ燃料ポンプ用電動機、B/補助ボイラ給水ポンプ用電動機、C/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、D/補助ボイラ給水ポンプ用電動機、E/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、F/補助ボイラ給水ポンプ用電動機、G/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、H/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、I/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、J/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、K/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、L/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、M/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、N/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、O/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、P/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、Q/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、R/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、S/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、T/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、U/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、V/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、W/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、X/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、Y/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機、Z/補助ボイラ加圧ポンプ用電動機
		4. 簡易点検 (ホース取替)			5Y	○	42回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数
燃料運搬設備に係る油の輸送管、燃料貯蔵設備に係る油タンク	1式	1. 開放点検	低	2Y~20Y	○	46回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数 ②	
補助ボイラー集じん機 ばい塵処理設備に附属する空気圧縮機、通風機、破砕機又は導管機	1式	1. 開放点検	低	10Y~20Y	—	38回※1	補助ボイラー性能検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	
補助ボイラー-附属設備その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	低	B	—	46回※1	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	
補助ボイラー-附属設備その他の弁	1式	1. 分解点検	低	1Y~10Y	○	46回※1	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	
		1. 分解点検他	低	1Y~20Y	○	46回※1	補助ボイラー設備検査	フロント運転中 ※1 自主点検回数	

変更理由

① 設備追加に伴う項目の分割
 ② 常用直流電源設備（3系統目）の供用開始に伴う追加
 ③ 記載の適正化（保全計画の見直しによる保全頻度の変更）

(40/41)

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する設備診断技術）	
① ② ③ その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機附属設備	1.機能・性能試験 2.非破壊試験 3.外観点検 4.特性試験 5.分解点検 6.開放点検 7.漏えい試験	高	1F	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査	【振動診断（燃料弁冷却水ポンプ、燃料弁冷却水ポンプ用電動機）：1M 【温水循環ポンプ、温水循環ポンプ用電動機、潤滑油プライミングポンプ用電動機】：3M	
			高・低	13M~39M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	1F	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	13M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	26M~130M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	13M~130M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	13M~39M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
	2台	1.機能・性能試験 2.取替他	高	1F	○	25回	その他非常用発電装置の機能検査、その他非常用発電装置の付属設備検査		
	3台	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	可搬型代替電源設備検査		
	3台	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	可搬型代替電源設備検査		
	3台	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	可搬型代替電源設備検査		
	2台	1.開放点検	高	1F	○	25回			
	3台	1.外観点検他	高	6M~1Y	○	25回		消防法に基づく点検	
	1式	1.分解点検	高・低	13M~130M	○	25回			
	1式	1.分解点検他	高	13M~195M	○	25回			
1式	1.分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部Mあり		
① ② ③ その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	1.機能・性能試験（動作機能） 2.機能・性能試験（動作機能） 3.簡易点検（充電）	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査		
			高	1F	○	25回	直流電源系動作検査		
			高	2回/年	○	25回		プラント運転中又は定検停止中	
	1組（64個/組）	1.機能・性能試験（動作機能） 2.機能・性能試験（動作機能） 3.簡易点検（充電）	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査	25回定期事業者検査時に設置	
	1組（64個/組）	1.機能・性能試験（動作機能） 2.機能・性能試験（動作機能） 3.簡易点検（充電）	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査	25回定期事業者検査時に設置	
	4台	1.機能・性能試験 2.特性試験他	高	1F	○	25回	インバータ機能検査	25回定期事業者検査時に設置	
	1台	1.機能・性能試験 2.特性試験他	高	1F	○	25回	インバータ機能検査		
	3台	1.外観点検 2.電圧測定	高	1Y	○	25回			
	2台	1.外観点検 2.電圧測定	高	1Y	○	25回			
	1式	1.分解点検他	高	13M~273M	○	25回			
	1式	1.分解点検他	低	13M~208M	○	25回		一部Mあり	
	① ② ③ その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	発電機設備	1.分解点検他	高	13M~104M	○	25回		
				高	13M~78M	○	25回		
				高	150M	○	25回		
		1式	1.分解点検他	高	13M~364M	○	25回		【振動診断（相分離母線冷却ファン電動機）：6M
1式		1.分解点検他	高	13M~208M	○	25回		一部Mあり	

(40/41)

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する設備診断技術）	
① ② ③ その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機附属設備	1.機能・性能試験 2.非破壊試験 3.外観点検 4.特性試験 5.分解点検 6.開放点検 7.漏えい試験	高	1F	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査	【振動診断（燃料弁冷却水ポンプ、燃料弁冷却水ポンプ用電動機）：1M 【温水循環ポンプ、温水循環ポンプ用電動機、潤滑油プライミングポンプ用電動機】：3M	
			高・低	13~39M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	1F	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	13M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	26M~130M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	13M~130M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
			高	13M~39M	○	25回	非常用予備発電機付属設備検査		
	2台	1.機能・性能試験 2.取替他	高	1F	○	25回	その他非常用発電装置の機能検査、その他非常用発電装置の付属設備検査	平成23年10月に設置	
	3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	25回	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置	
	3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	25回	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置	
	3台	1.機能・性能試験	高	3M	○	25回	可搬型代替電源設備検査	25回施設検査時に設置	
	2台	1.開放点検	高	1F	○	25回		25回施設検査時に設置	
	3台	1.外観点検他	高	6M~1Y	○	25回		25回施設検査時に設置 消防法に基づく点検	
	1式	1.分解点検	高・低	13M~130M	○	25回			
	1式	1.分解点検他	高	13M~195M	○	25回			
1式	1.分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部Mあり		
① ② ③ その他発電用原子炉の附属施設 [その他の電源装置]	直流電源装置蓄電池	1.機能・性能試験（動作機能） 2.機能・性能試験（動作機能） 3.簡易点検（充電）	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査		
			高	1F	○	25回	直流電源系動作検査		
			高	2回/年	○	25回		プラント運転中又は定検停止中	
	1組（64個/組）	1.機能・性能試験（動作機能） 2.機能・性能試験（動作機能） 3.簡易点検（充電）	高	1F	○	25回	直流電源系機能検査	直流電源系機能検査は25回施設定期検査より追加	
	1組（64個/組）	1.機能・性能試験（動作機能） 2.機能・性能試験（動作機能） 3.簡易点検（充電）	高	1F	○	25回	直流電源系動作検査	直流電源系動作検査は25回施設定期検査より追加	
	4台	1.機能・性能試験 2.特性試験他	高	13M	○	25回	インバータ機能検査	25回定期事業者検査時に設置	
	1台	1.機能・性能試験 2.特性試験他	高	1F	○	25回	インバータ機能検査	25回施設検査時に設置	
	3台	1.外観点検 2.電圧測定	高	1Y	○	25回		25回施設検査時に設置	
	2台	1.外観点検 2.電圧測定	高	1Y	○	25回		25回施設検査時に設置	
	1式	1.分解点検他	高	13M~273M	○	25回			
	1式	1.分解点検他	低	13M~208M	○	25回		一部Mあり	
	① ② ③ その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	発電機設備	1.分解点検他	高	13M~104M	○	25回		
				高	13M~78M	○	25回		
				高	150M	○	25回		
		1式	1.分解点検他	高	13M~364M	○	25回		【振動診断（相分離母線冷却ファン電動機）：6M
1式		1.分解点検他	高	13M~208M	○	25回		一部Mあり	

変更理由

記載の適正化

変更後

(41/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (()内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [大災防護設備]	電動消火ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機)	高	1Y	○	26回	大災防護設備検査	プラント運転中又は施設定検停止中(振動診断【電動機】:1M)
				4Y	—	25回		
				CBM	—	—		
消火水ポンプ	2台	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機)	高	B※	—	—	大災防護設備検査	B※:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
				130M	—	—		
				130M	—	—		
消火水タンク	8台	1.閉鎖点検	高	130M	—	—		
煙等流入防止装置	1式	1.取替	高	130M	—	—		
オイルパン、ドレンパン(燃料取替用本ポンプ、充てん高圧注入ポンプ、ほう機ポンプ、計器用コンプレッサ、チラーユニット、冷水ポンプ、1次系冷却水ポンプ他)	1式	1.外観点検	低	10F	—	—		プラント運転中又は施設定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 [大災防護設備] その他機器	1式	1.特性試験他	高	1Y~130M	○	26回		プラント運転中又は施設定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備]	浸水防止蓋	1.外観点検他	高	1M~130M	○	26回		プラント運転中又は施設定検停止中
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1.外観点検	高	10Y	—	—		プラント運転中又は施設定検停止中
	水密扉	1.外観点検	高	1F	○	26回		プラント運転中又は施設定検停止中
	漏洩計	1.機能・性能試験	高・低	1F	○	26回	計測制御系監視機能検査	
	津波監視カメラ	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	計測制御系監視機能検査	
	湧水サンプリングシステム	1.機能・性能試験	低	B※	—	—	浸水防護設備検査	B※:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
	湧水サンプリングポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	低	130M CBM	— —	— —		(メタ測定:1F)
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備] その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検	低	B 91M	— —	— —	浸水防護設備検査	
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備] その他の非駆動部	1.機能・性能試験 2.分解点検	低	B 156M	— —	— —	浸水防護設備検査	
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備] その他機器	1.外観点検他	高・低	10Y	—	—		
その他発電用原子炉の附属施設 [補機駆動用燃料設備]	軽油用ドラム缶	1.取替	高	2Y	○	—		先行実施 プラント運転中又は施設定検停止中
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用取水設備]	海水ポンプ室	1.外観点検	高	1F	—	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
土木建築設備	外部遮へい壁、内部コンクリート、原子炉格納施設基礎、原子炉補助建屋、取水構造物、タービン建屋(タービン架台)	1.非破壊試験	高・低	5Y	—	26回		
プラント総合	原子炉建屋	1.外観点検	高・低	1F	○	26回		プラント運転中又は定検停止中
	取水口設備	1.外観点検	高	1F	○	26回		プラント運転中又は定検停止中
全般機器	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く) 諸機器	1.総合性能試験 1.分解点検他	高 低	1F 13M~104M	○	26回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後 一部先行実施

(41/41)

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (()内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [大災防護設備]	電動消火ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機)	高	1Y	○	26回	大災防護設備検査	プラント運転中又は定期事業者検査停止中(振動診断【電動機】:1M)
				4Y	—	25回		
				CBM	—	—		
消火水ポンプ	2台	1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) 3.分解点検(電動機)	高	B※	—	—	大災防護設備検査	B※:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施 25回施設定検時に設置
				130M	—	—		
				130M	—	—		
消火水タンク	8台	1.閉鎖点検	高	130M	—	—	25回施設定検時に設置	
煙等流入防止装置	1式	1.取替	高	130M	—	—	25回施設定検時に設置	
オイルパン、ドレンパン(燃料取替用本ポンプ、充てん高圧注入ポンプ、ほう機ポンプ、計器用コンプレッサ、チラーユニット、冷水ポンプ、1次系冷却水ポンプ他)	1式	1.外観点検	低	10F	—	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [大災防護設備] その他機器	1式	1.特性試験他	高	1Y~130M	○	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備]	浸水防止蓋	1.外観点検他	高	1M~130M	○	—		25回施設定検時に設置
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1.外観点検	高	10Y	—	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
	水密扉	1.外観点検	高	1F	○	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
	漏洩計	1.機能・性能試験	高・低	1F	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設定検時に設置(1台)
	津波監視カメラ	1.機能・性能試験	高	1F	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設定検時に設置
	湧水サンプリングシステム	1.機能・性能試験	低	B※	—	—	浸水防護設備検査	25回施設定検時に設置 B※:ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
	湧水サンプリングポンプ・電動機	1.分解点検(ポンプ) 2.分解点検(電動機)	低	130M CBM	— —	— —		25回施設定検時に設置 (メタ測定:1F) 25回施設定検時に設置 (水中ポンプから機型ポンプに変更)
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備] その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検	低	B 91M	— —	— —	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査は、25回施設定検から設定
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備] その他の非駆動部	1.機能・性能試験 2.分解点検	低	B 156M	— —	— —	浸水防護設備検査	浸水防護設備検査は、25回施設定検から設定
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備] その他機器	1.外観点検他	高・低	10Y	—	—		25回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [補機駆動用燃料設備]	軽油用ドラム缶	1.取替	高	2Y	—	—		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用取水設備]	海水ポンプ室	1.外観点検	高	1Y	○	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 25回施設定検時に設置
土木建築設備	外部遮へい壁、内部コンクリート、原子炉格納施設基礎、原子炉補助建屋、取水構造物、タービン建屋(タービン架台)	1.非破壊試験	高・低	5Y	○	25回		
プラント総合	原子炉建屋	1.外観点検	高・低	1F	○	25回		プラント運転中又は定検停止中
	取水口設備	1.外観点検	高	1F	○	25回		プラント運転中又は定検停止中
全般機器	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く) 諸機器	1.総合性能試験 1.分解点検他	高 低	1F 13M~104M	○	25回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後 一部先行実施

施設管理の実施に関する計画の変更前

変更前